

平成19年2月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成18年6月23日

上場会社名 株式会社しまむら
コード番号 8227

上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
本社所在地 埼玉県

(URL <http://www.shimamura.gr.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 野中正人
問合せ先責任者 役職名 企画室長 鈴木栄一 TEL:(048)652-2111

1. 四半期業績の概況と作成等に係る事項

会計処理の方法における簡単な方法の採用の有無 : 有
法人税等の計上基準は法定実効税率を基本とした年間予測税率によって計算しております。
金額が僅少なものにつきましては、一部簡便な手続を採用しております。
最近連結会計年度からの会計処理の変更の有無 : 無
連結範囲及び持分法の適用の異動状況 : 無

2. 平成19年2月期 第1四半期の業績概況（平成18年2月21日～平成18年5月20日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (記載金額は、百万円未満を切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年2月期 第1四半期	89,073	7.6	7,265	15.7	7,156	11.1
18年2月期 第1四半期	82,770	8.1	6,277	27.2	6,437	25.1
(参考)18年2月期実績	361,989		29,918		30,849	

	当期(四半期)純利益		1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期(四半期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19年2月期 第1四半期	3,959	8.1	108	32	-	-
18年2月期 第1四半期	3,660	33.0	100	15	-	-
(参考)18年2月期実績	17,379		473	09	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示します。

【経営成績（連結）の進捗状況における定性的情報等】

当第1四半期における経済環境は、原油・原材料価格の高騰や、日銀の量的緩和解除による金利情勢の変化など、不安材料は残るものの企業の好業績を背景に堅調に推移し、雇用・賃金情勢にも改善の動きがあり個人消費も回復が期待されていましたが、需要動向を大きく左右する天候は四半期を通して悪く、東京で桜の開花宣言が出た3月21日後でも気温はなかなか上がらず、また低気圧や前線の影響を受けて5月は全国的に日照時間が少なく、初夏・夏物衣料にとっては厳しい環境となりました。

このような状況のなかで、当社グループは当第1四半期も積極的な出店を続け、既存業態で14店舗を開設するとともに新たに婦人靴を中心とした新業態店舗を1店開設して、店舗総数は合計1,265店舗となりました。

主力のしまむら事業では、全部門でのファッション・トレンドの追求とコーディネートを意識した陳列・演出力のレベルアップに注力するとともに、新規に5店舗を開設したほか既存店舗の建替えを3店舗で行いました。加えて老朽化した店舗の大規模改装を40店舗で行い、最新の店舗型式にすることで活性化を図った結果、客数は前年対比103.4%、既存店の売上高は同101.7%、全店舗の売上高は同105.5%と順調に業績を伸ばすことができました。

ベビー・トドラー用品を扱うパースデイ事業は、1店舗を開設して69店舗となり、全店舗の売上高は前年対比122.2%となりました。また婦人のファッション雑貨を扱うサンプル事業は、3店舗を開設して43店舗となり、全店舗の売上高は前年対比128.6%となりました。

新事業の研究としてしまむらグループ店舗内の3箇所の売場で靴の専門店業態の研究を進めておりましたが、取扱商品を10～20代のティーンズ、ヤングの女性を主たる顧客層としたカジュアルシューズの専門店業態を開発するため、東京都青梅市にフリースタANDINGの実験店舗「D」(売場面積399㎡)を開設しました。また、しまむらグループ店舗内売場での実験も1箇所追加し4箇所で行っています。

子会社の状況では、若者向けの衣料品とシューズを扱う株アベイルは、5店舗を開設して157店舗となりました。対象客層の拡大を目指した商品構成の再構築を行い、また商品力の向上を表現できる陳列・演出・販促の再構築を推進

した結果、客数は前年対比126.3%、既存店舗の売上高は前年対比104.3%、全店舗の売上高は前年対比119.9%となりました。また、台湾で事業展開する**思夢楽**は当第1四半期での出店は無く、トレンド商品の提案強化と日本企画商品を拡大した結果、全27店舗での売上高は前年対比109.5%となりました。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、売上高89,073百万円、営業利益7,265百万円、経常利益7,156百万円、四半期(当期)純利益3,959百万円を計上することができました。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年2月期 第1四半期	198,632	127,931	64.4	3,484	02
18年2月期 第1四半期	178,921	112,052	62.6	3,050	76
(参考)18年2月期実績	191,858	125,557	65.4	3,432	89

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ、6,774百万円増加し、198,632百万円となりました。たな卸資産、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末と比べ、それぞれ増加しておりますが、これは季節要因による変動です。また、負債は5,013百万円増加し、70,700百万円となりました。株主資本は、前連結会計年度末と比べ、利益剰余金の増加により1,857百万円増え、124,037百万円となりました。

【参考】

平成19年2月期の連結業績予想 (平成18年2月21日～平成19年2月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年2月期	390,000	34,402	35,040	19,380

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 527円81銭

【業績予想に関する定性的情報等】

平成19年2月期の連結業績予想につきましては、前回公表(平成18年4月5日付け)いたしました業績予想に変更はありません。

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【添付資料】

1. (要約) 第1四半期連結貸借対照表

期 別 科 目	当四半期 (平成19年2月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成18年2月期 第1四半期)		(参考) 平成18年2月期 (平成18年2月20日現在)	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
流動資産	59,845	30.1	51,430	28.7	55,053	28.7
1. 現金及び預金	24,419		18,602		27,611	
2. 受取手形及び売掛金	301		216		417	
3. たな卸資産	32,278		30,249		24,919	
4. 繰延税金資産	1,357		1,114		1,357	
5. その他	1,487		1,248		748	
固定資産	138,786	69.9	127,490	71.3	136,804	71.3
1. 有形固定資産	82,189	41.4	75,275	42.1	80,863	42.1
(1) 建物及び構築物	50,715		47,435		51,038	
(2) 土地	26,858		23,610		26,886	
(3) その他	4,614		4,228		2,938	
2. 無形固定資産	961	0.5	930	0.5	957	0.5
3. 投資その他の資産	55,636	28.0	51,284	28.7	54,983	28.7
(1) 投資有価証券	8,310		5,595		8,512	
(2) 繰延税金資産	283		376		295	
(3) 差入保証金	42,645		40,863		42,387	
(4) その他	4,619		4,771		3,961	
(5) 貸倒引当金	222		321		173	
資 産 合 計	198,632	100.0	178,921	100.0	191,858	100.0
(負債の部)						
流動負債	54,729	27.6	44,030	24.6	45,634	23.8
1. 支払手形及び買掛金	29,068		26,822		20,325	
2. 一年以内償還予定社債	5,000		5,000		5,000	
3. 短期借入金	8,000		1,100		4,000	
4. 未払法人税等	3,250		2,780		8,307	
5. 賞与引当金	2,544		2,312		1,272	
6. その他	6,865		6,015		6,728	
固定負債	15,971	8.0	22,838	12.8	20,053	10.5
1. 社 債			5,000			
2. 長期借入金	12,000		15,000		16,000	
3. その他	3,971		2,838		4,053	
負 債 合 計	70,700	35.6	66,869	37.4	65,687	34.3
(純資産の部)						
株主資本	124,037	62.4	109,737	61.3	122,180	63.7
1. 資 本 金	17,086		17,086		17,086	
2. 資本剰余金	16,808		16,808		16,808	
3. 利益剰余金	90,290		75,953		88,430	
4. 自己株式	147		110		144	
評価・換算差額等	3,299	1.7	1,773	1.0	3,377	1.8
1. その他有価証券評価差額金	3,314		1,773		3,531	
2. 為替換算調整勘定	15		0		154	
少数株主持分	593	0.3	541	0.3	613	0.3
純 資 産 合 計	127,931	64.4	112,052	62.6	125,557	65.4
負 債 、 純 資 産 合 計	198,632	100.0	178,921	100.0	191,858	100.0

2. (要約) 第1四半期連結損益計算書

科 目	当四半期 (平成19年2月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成18年2月期 第1四半期)		(参考) 平成18年2月期 (平成18年2月20日現在)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	89,073	100.0	82,770	100.0	361,989	100.0
売上原価	61,578	69.1	57,264	69.2	250,881	69.3
売上総利益	27,494	30.9	25,506	30.8	111,107	30.7
営業収入	168	0.2	167	0.2	947	0.3
営業総利益	27,662	31.1	25,673	31.0	112,054	31.0
販売費及び一般管理費	20,397	22.9	19,395	23.4	82,135	22.7
営業利益	7,265	8.2	6,277	7.6	29,918	8.3
営業外収益	263	0.3	239	0.3	1,287	0.3
営業外費用	372	0.4	80	0.1	357	0.1
経常利益	7,156	8.0	6,437	7.8	30,849	8.5
特別利益			1	0.0	141	0.0
特別損失	183	0.2	40	0.1	545	0.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,972	7.8	6,398	7.7	30,446	8.4
法人税、住民税及び事業税	3,030	3.4	2,717	3.3	12,972	3.6
少数株主利益	17	0.0	20	0.0	93	0.0
四半期(当期)純利益	3,959	4.4	3,660	4.4	17,379	4.8